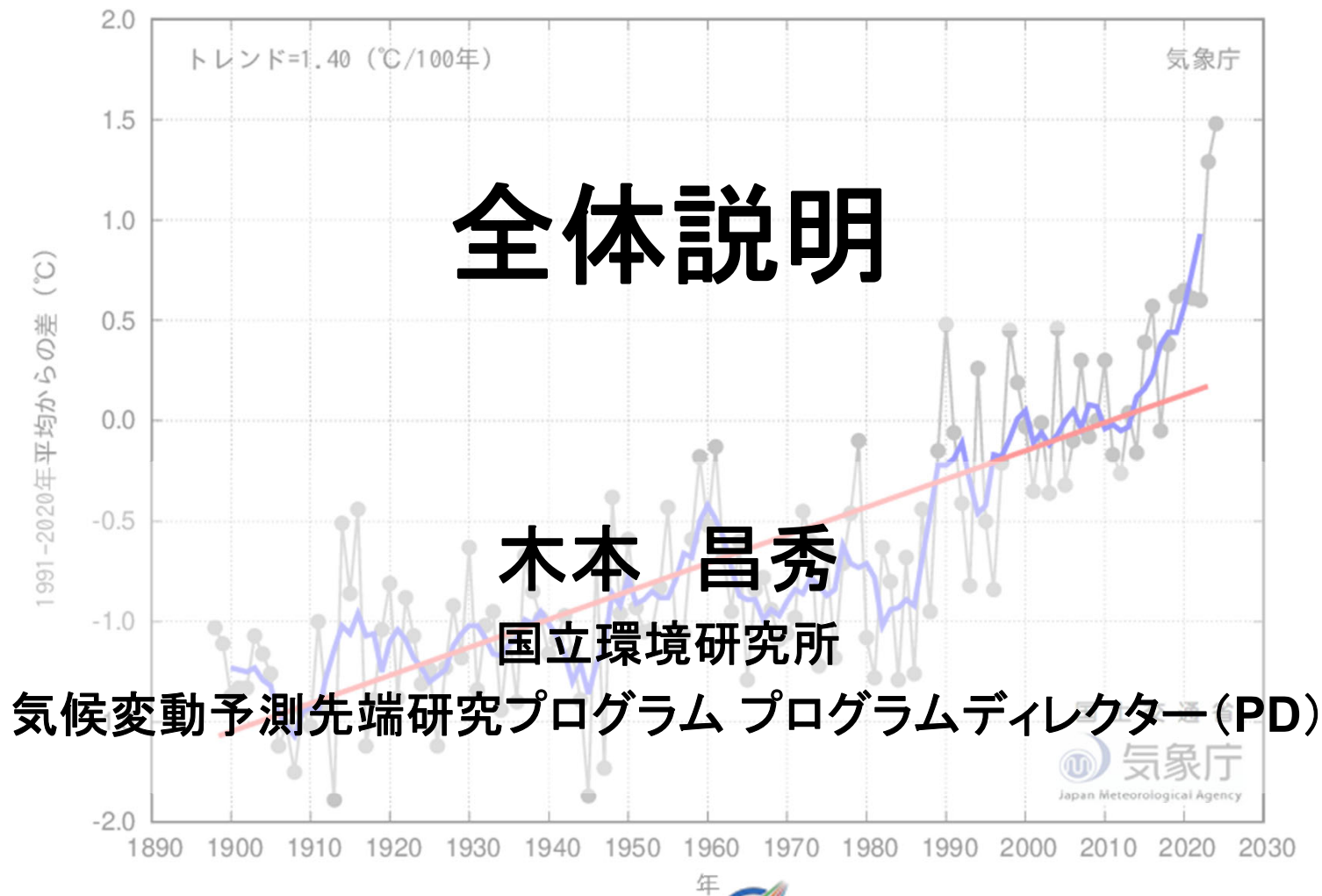


研究成果報告会

日本の年平均気温偏差



[MEXT-Program]
SENTAN

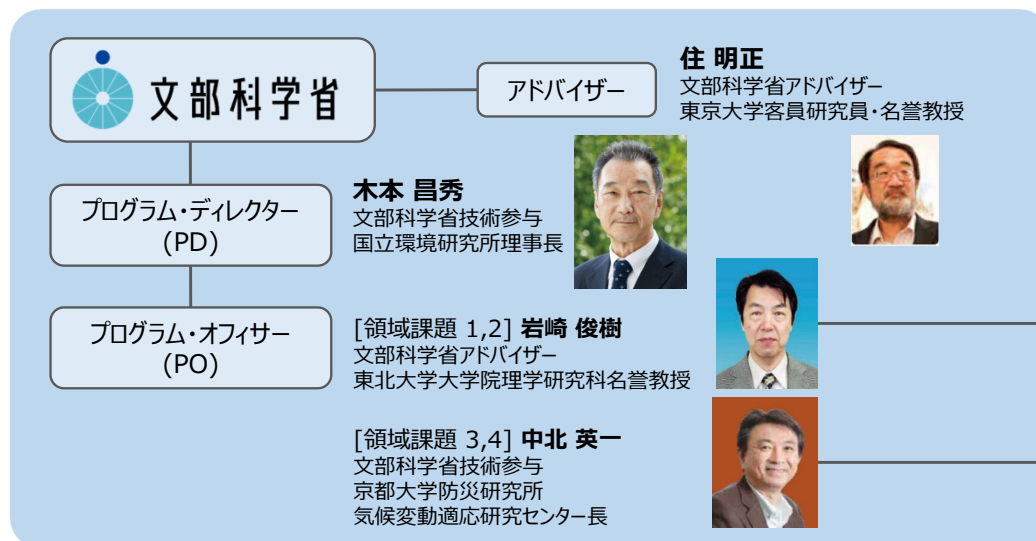
気候変動予測先端研究プログラム

本研究プログラムでは、気候変動適応策・脱炭素社会の実現に向けた緩和策に活用される科学的根拠を創出・提供することを目指します。



SNENTAN Program Overview

実施体制



ターゲット・概要

- 気候変動予測先端研究プログラムにおいては、気候変動研究の基盤的な研究を継続し、**気候変動研究の基盤**を支える。
- ユーザーニーズを踏まえ、**地域別予測、近未来予測、AI活用**といった最新動向に対応し、**国際競争力の向上**や**社会実装（気候変動対策）**のために**必要な取組**を推進する。



IPCC第6次評価報告書(2021-22)

第1作業部会

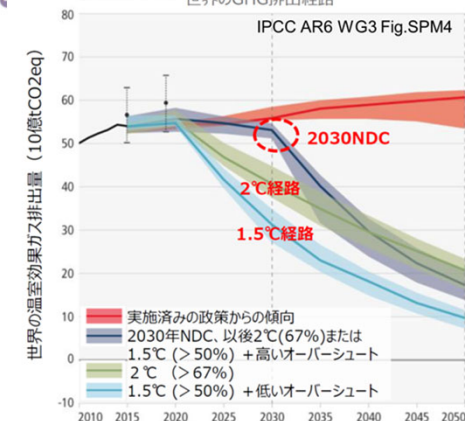
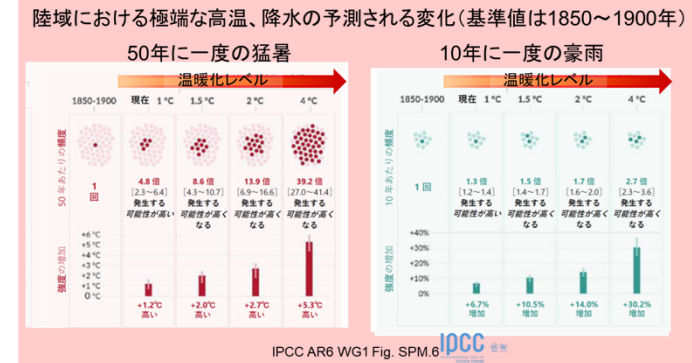
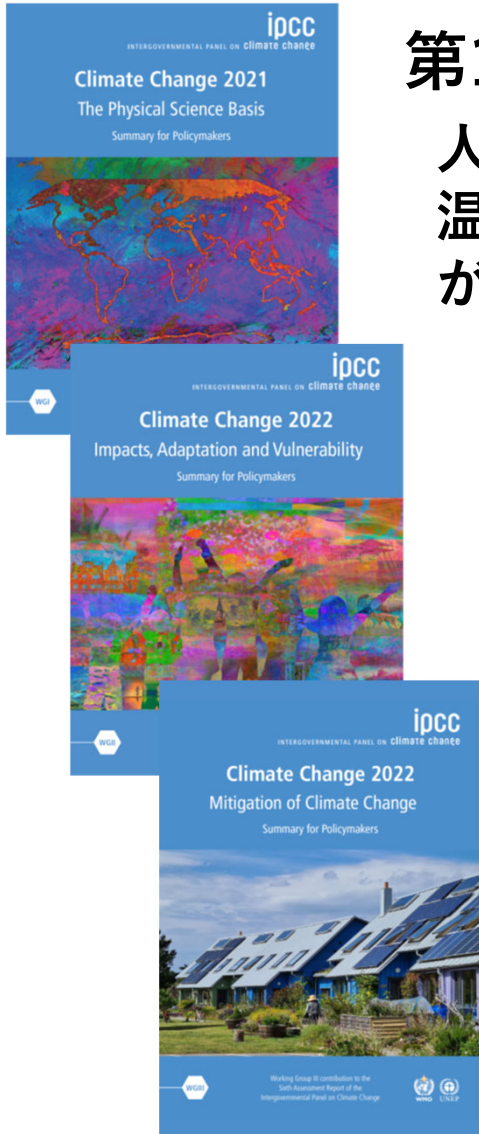
人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない。

第2作業部会

人為起源の気候変動により、自然の気候変動の範囲を超えて、自然や人間に対して広範囲にわたる悪影響とそれに関連した損失と損害を引き起こしている。

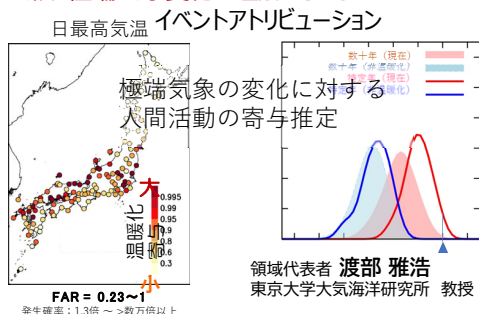
第3作業部会

我々は、温暖化を1.5°Cに抑制する経路上にない。
2010~19年の温室効果ガス排出量の年平均値は、人類史上最高となった。



エビデンスに基づく地球システム変動の理解と予測

- 気候・極端気象変化の理解と予測



領域代表者 **渡部 雅浩**
東京大学大気海洋研究所 教授



生態系や人間活動を含んだ地球環境モデルを構築し、
気候変動対策の意思決定に貢献する



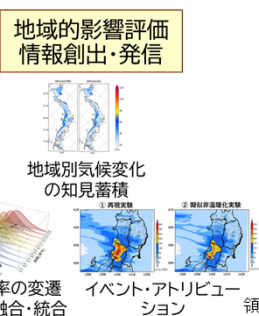
- 地球システムモデルの開発・応用
メタン・N₂O・エアロゾル、永久凍土融解、
極域氷床、森林火災…
- 緩和シナリオに対する地球環境の応答
カーボンバジェット評価

領域代表者 **河宮未知生**
海洋研究開発機構 センター



「行動につながる気候科学」を目指し、気候変動ナショナルシナリオ構築に向けた研究を推進する

- ダウンスケール
- 気候予測データセット

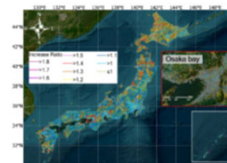


領域代表者 **辻野 博之**
気象業務支援センター 室長

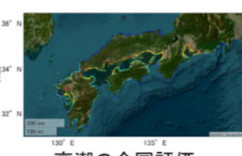


風水害・水資源のプロセスモデル高度化・統合化と 防災気候情報等の極端現象の将来予測

- 洪水、高潮、強風、土石流、海洋熱波



洪水の全国評価



高潮の全国評価

領域代表者 **森 信人**
京都大学防災研究所 教授



目標およびタイムライン

